

2022年12月6日

報道関係各位

国立大学法人東京藝術大学
三菱地所株式会社

東京藝術大学と三菱地所、包括連携協定を締結

～芸術の力を人・企業・まちへと還元し、社会課題の解決に寄与～

国立大学法人東京藝術大学（東京都台東区、学長：日比野 克彦、以下 東京藝術大学）と三菱地所株式会社（東京都千代田区、執行役社長 吉田 淳一、以下 三菱地所）は12月5日、包括連携協定を締結しました。

東京藝術大学と三菱地所は、2007年以来「藝大アーツイン丸の内」を開催し、丸の内から文化・芸術活動の情報発信を行う等、様々なアートイベントでの連携を深めてまいりました。

今回の協定締結により、様々な知見をもった企業が集積する大手町・丸の内・有楽町エリア（以下、大丸有エリア）において、アートが有する力を介することで企業・個人のクリエイティビティを高め、ビジネスアイディアの発見と新しい産業の創出を促進し、国内外における社会課題の解決に寄与するという理念を両者が共有し、産学連携の取り組みをより一層強化していく予定です。

東京藝術大学の主要拠点であり、多くの歴史・文化施設をもとに多様な文化が生み出されている上野から、三菱地所が「丸の内 NEXT ステージ」と位置付け“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を目指して、まちづくりを推進する大丸有エリアまで、芸術の力を通じて、より一層魅力ある場として創造していくことを目指します。



▲三菱地所 執行役社長 吉田淳一（左）と東京藝術大学 学長 日比野克彦（右）

■各社コメント

・東京藝術大学 学長 日比野 克彦

藝大と三菱地所とはこれまで「藝大アーツイン丸の内」を中心に様々な連携事業を実施してきました。心豊かな活力ある社会の形成が求められるなか、三菱地所と藝大の目指す社会は、イメージする力を基盤に構築していくという共通したところがあり、今回包括協定を締結することとしました。

三菱地所が持つまちづくりの知見を元に、丸の内地域でのアートアクションの実践や、アート×エコビジネスによるアート・リーディングプログラムを作り、社会的課題の解決へ、そして未来の地球へ貢献していくことを目指していきます。

これからの世界・社会においては、アートの役割が益々重要になると考えています。大学や企業、市民等、多様なステークホルダーとの関係構築を、アートを媒体として進めていきます。アートは個々の違いをそれぞれの特性として認識し、その差異がひとりひとりの心を動かすことができるものです。すべての人たち、すべての領域を滲ませることができるのがアートなのです。東京藝術大学は、アートの力であらゆる分野を接続する有機的な活動体として、人が潜在的にもつ生きる磁力を引き出す役割を担っていきたいと思います。

・三菱地所 執行役社長 吉田 淳一

当社は丸の内再構築推進にあたり、アートは人々の心を豊かにし、まちに潤いや深みをもたらす重要な要素と捉え、三菱一号館美術館の開設・運営や、藝大との共催イベント「藝大アーツイン丸の内」等に取り組んでまいりました。様々なアート作品やその制作過程をまちに落とし込むことにより、子供から大人まで、たくさんの来街者に新しい発見と驚きの体験を提供しております。

急速に変化する現代において、社会におけるアートの役割は益々重視されてきております。アートやアートの制作活動がもたらす多様性・創造性・気づきが、産業界とコラボレーションすることで、新たな価値を社会にもたらし、複雑化する社会課題の解決や、国力を向上する産業創出に寄与することが可能となります。

藝大との協業をより一層強化し、双方の知見・ノウハウを活用すると共に、アートを触媒として、大丸有エリアに立地する企業や近接するアカデミアとの連携・協業を推進することで、日本の豊かな未来を創造してまいります。

■本協定の取り組み概要

協定締結日：2022年12月5日（月）

主な取り組み内容：

- ・文化芸術による創造的イノベーションに関すること
- ・新たな価値創造によるまちづくりに関すること
- ・共生社会をつくるアートコミュニケーションに関すること
- ・文化芸術の教育研究に関すること
- ・人材育成・交流に関すること

複雑化する社会課題に対し、アートを含めた多面的なアプローチによる課題解決が求められている中、日本で唯一の国立総合芸術大学として、創設以来、世界水準の教育研究活動を展開し、数多の傑出した芸術家や教育者・研究者を育成・輩出するとともに、国内外における広範かつ多様な芸術活動や社会実践等を通じて芸術文化の継承・発展に寄与してきた東京藝術大学と、長年にわたるまちづくりを通じて多様な人・組織・企業の集積や交流を推進し、社会課題解決・新たな価値創造に取り組んできた三菱地所がパートナーシップを新たにすることで、芸術の携わる役割を拡大し、イノベーションの創出を目指します。

アートが有する力を発信・共有・拡張し、大丸有エリア内外のビジネスパーソン・企業・アイデア等と化学反応を起こす舞台となる拠点「藝大アートセンター」の大丸有エリアでの構築を通じて、ア

トとビジネスの協働により、都市のクリエイティビティ向上やイノベーション創出を図ります。

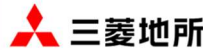
また、地理的に近接した主要拠点を有する両者が連携し、多様なステークホルダー（大丸有エリアに集積する企業・スタートアップ、大丸有エリアを訪れたアーティスト、近隣エリアに立地する東京大学・東京医科歯科大学等卓越するアカデミア等）と協業することで、活力溢れる「東京」を共創し、国内外への知見の展開により、社会課題の解決を推進します。

芸術の力を人・企業・まちへと還元し、社会課題の解決に寄与する



TOKYO GEIDAI

- 世界水準の教育研究活動を、学内外の広範に展開
- 多様な企業との連携による社会実践を通じた芸術活動で、芸術文化の継承・発展に寄与



人を、想う力。街を、想う力。

- 多様な知見をもつ人・企業への芸術の力の還元によるクリエイティビティ向上
- イノベーション創出の機会増加とエリアの価値向上

連携領域

1. 文化芸術による創造的イノベーションに関する事
2. 新たな価値創造によるまちづくりに関する事
3. 共生社会をつくるアートコミュニケーションに関する事
4. 文化芸術の教育研究に関する事
5. 人材育成・交流に関する事

今後の目指す姿

- 我が国における文化芸術の振興及び芸術を持って
- ✓ 活力溢れる「東京」を共創する
 - ✓ その知見の展開により、国内外における社会課題解決に取り組む

▲包括連携協定の取り組みイメージ図

【今後の取り組み（予定）】

■寄附講座の開講

大丸有エリアにおける「藝大アートセンター」構築に向けて、東京藝術大学・三菱地所のリソースを活用し、ビジネスセンターに求められるアートの役割について研究し、社会人・学生向けのプログラムを研究・提供するため、寄附講座を開講予定です。

東京藝術大学初の寄附講座となり、アートが都市にもたらした影響を学術的に研究するとともに、イノベーション創出におけるアートポテンシャルの定義づけを目指します。

【参考】既存取り組み

■藝大アーツイン丸の内

2007年より開催し、東京藝術大学で研鑽を積み「三菱地所賞」を受賞した若手アーティストによる受賞記念展示・公演のほか、東京藝術大学の学生が放つ多彩で革新的な発想や技術・知力を広く発信し、様々なアートを楽しんで頂けるイベントとして開催。若手アーティストに対して継続的に活躍の機会を提供し、アート・人・まちを繋ぎ、多くの方にアートを楽しんで頂く機会の創出により、まちの更なる活性化を目指します。

■ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 丸の内エリアコンサート

東京国際フォーラムにて開催される「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO」と連動し、丸の内仲通りや丸ビル等、丸の内エリア各所にて無料クラシックコンサートを実施。GW 期間中を通して、国内外で活躍するプロの演奏家や東京藝術大学の学生等による多彩な演奏により、丸の内エリア全体がクラシック音楽に包まれます。



© 撮影：廣田達也

▲藝大アーツイン丸の内の様子

東京藝術大学 学長 日比野克彦（中央左）
三菱地所 執行役社長 吉田淳一（中央右）



▲ラ・フォル・ジュルネ TOKYO

丸の内エリアコンサートの様子

以上